

年頭挨拶



厚生労働省 人材開発統括官付 能力評価担当参事官
瀧原 章夫
(たきはら あきお)

新年明けましておめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から人材開発行政へご理解、ご協力をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。

貴協会におかれましては、長年にわたり指定試験機関としてレストランサービス技能検定を運営いただいております。平成28年度までに累計で3万人もの方々が技能士となり、各界でご活躍されています。これも、貴協会を始め技能検定委員の皆様方のご尽力の賜物と深く敬意を表すものであります。

昨年は、技能検定の試験会場において、実際の実技試験を拝見する機会をいただきました。受検者の皆様方が、試験という非常に緊張を強いられる場面においても、日々の業務の中で培われた技能を発揮され、ホスピタリティにあふれたサービスを行う姿に深く感

動するとともに、レストランサービス技能の奥深さを改めて認識いたしました。現在、厚生労働省では技能検定制度の充実を図る一環として、対人サービス分野における制度の整備を推進しております。平成14年度から技能検定を実施してこられた貴協会におかれましては、引き続き技能検定の適正・円滑な実施を進めていただくとともに、対人サービス分野の先達として、我が国の技能を支える技能検定制度の益々の発展にご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年10月にアラブ首長国連邦・アブダビで「第44回技能五輪国際大会」が開催され、日本からはレストランサービスを含めた計40職種の競技に選手が参加し、熱い戦いが繰り広げられました。また、昨年11月には栃木県で「第55回技能五輪全国大会」が開催され、レストランサービスを含めた計42職種の競技に全国から1,337名が選手として参加し、レストランサービス職種では、21名の若い技能者が切磋琢磨し、技能レベルの日本一を競いました。両大会を通じ、未来を支える若い力の躍進を強く感じたところです。

政府では、若い技能者が世界を舞台に技能を競う技能五輪国際大会の日本での開催に向けて、招致に立候補する決定を行いました。今後、招致活動に全力で取り組むことを通じ、次世代を担う若年技能者の育成とともに国内の技能振興や技能尊重機運の醸成等を推進してまいりますので、レストランサービス業界におかれましても、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝と貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

